

# ほん屋

2016(平成28)年10月

3号店

店主:仲村・久高

秋です！ 秋といえば読書。読書といえば図書館。図書館といえば「ほん屋」ですね！  
今回は洋書の紹介もあります。ぜひ御覧ください。

後期が始まって一週間経ちましたが、読書で夏休みモードを切り替えていきましょう。

※この発刊紙は、学生が作るニュース（図書館発行）です。

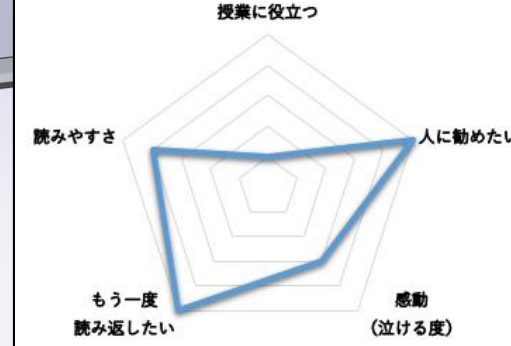
“ほん屋” of the students, by the students, for the students.



専攻科1年  
電子通信システム工学コース  
荻堂 盛也さん



## 『七つの会議』 (池井戸潤)

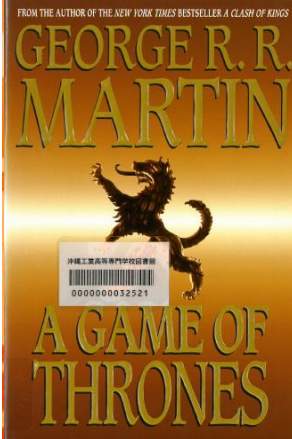


「下町ロケット」や「半沢直樹」でお馴染み池井戸潤の作品です。この作品も実は、半沢直樹の裏番組としてNHKがテレビドラマ化しております。半沢直樹がメガバンクの銀行員なら、こちらはしがない中堅電機メーカーの社員達が主人公になります。これだけでは地味で見劣りしますが、ストーリーの重厚さでいえばこちらのほうが圧倒的です。

会社内の人間関係の描写や、登場人物の発言一つ一つに妙な説得力を持っており、本当にこんな会社が存在するのではないかとさえ思わせるリアリティがあります。会社の不祥事に巻き込まれていく社員達の葛藤や緊張感が伝わってくるようで、サラリーマンがなんだかカッコ良く思える作品です。

文体にクセがなく、ストーリーの割に読みやすいため、あまり本を読み慣れていない人にもオススメです。

# 「A GAME OF THRONES」 (George R.R. Martin)



A Game of Thrones is book full of adventure and betrayal. It is set in the land of Westeros, a world filled with kings, queens, knights, and warriors. Magic had once been lost but is now reawakening along with other beasts and creatures. There are seven kingdoms and in the north, a giant wall of ice towering over 200 meters tall, built to keep the White Walkers out.

Game of Thrones is the first book of a series of six, although the sixth book has not been published yet. I really enjoyed the way this book was written. Each chapter is written from the perspective of a different character. As you read this book, you begin to understand the way each character thinks and feels. I also enjoy that no character is safe. Main characters die in a variety of ways, often unexpectedly, throughout the series of books. Some people have said that the books can sometimes be slow, but I found the detail painted pictures in my mind.

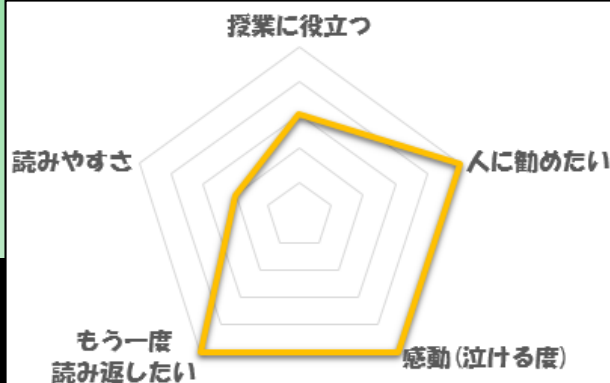
<日本語訳>

A Game of Thronesは冒険と裏切りの連続。物語の舞台は王様、女王、兵士達が奮闘する「ウエストラス」の地。かつて失われていた魔法が獣達と共に蘇り、7つの王国の北にある200メートルの巨大な氷の壁がホワイト・ウォーカー達の侵入を防いでいる。A Game of Thronesはシリーズ全6巻のうちの第1巻である。(第6巻はまだ出版されていない) 私はこの本のストーリーの進み方が本当に好きだ。各チャプターがそれぞれのキャラクターの視点で描かれている。本を読み進めていくうちにそれぞれのキャラクターがどう考え、どう感じているかを理解することができる。また、どのチャプターのメインキャラクターも生き残れるとは限らないということも面白い。

メインキャラクターが、物語を通して、時には不意に、様々な死に方をする。ストーリーが進むのが時々遅いと感じる人もいると思うが、私は心の中で詳細な描写を描いて楽しんでいる。



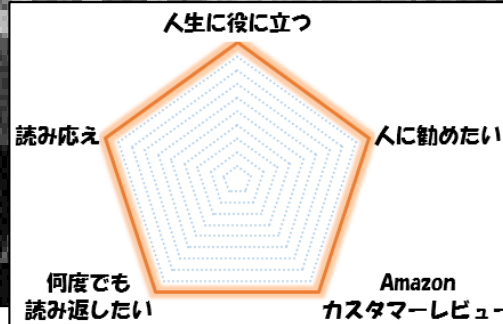
総合科学科  
助教 カーマン マコア先生



## 『トラウマ映画館』(町山 智浩)



専攻科1年  
生物資源工学コース 渡邊 雄介さん



この本もおすすめ!

人は誰も特別な映画を心に抱えて生きている——。この映画評論本のなかで紹介される26本の映画は、暴力、死、恐怖、不安、孤独、疎外……といった人間の精神の暗部を描いたものばかりです。それだけにページをめくるたびに地獄めぐり感があり、読み手の心に爪あとを残すと同時に何かしらのカタルシスを生むことでしょう。

この評論本は、映画作品との距離をもって冷静に語るという批評の王道を保ちながら、随所に作者の私的な映画体験、極めて私的なフェティシズム、そして、「トラウマ」が語られます。皆さんが思うような堅苦しい評論ではなく、痛快無比で面白く、作者の人生観がひしひしと伝わる評論です。著者の批評は映画史を踏まえ、様々な映画や小説、映画製作時の社会情勢などの参照や比較を効果的に行い、映画批評の真意を付いています。よって、この批評本は、単に26作品のパンフレットになるだけでなく、映画の観かたを学ぶための教科書になると思います。

図書館には、この本以外にも、町山さんの映画評論本やコラム集がいくつかあります。かなりおすすめです。ぜひ、皆さんもこの本から映画の観かたを学んで、それぞれの「トラウマ映画」と向き合ってみてはいかがでしょうか。

### ✓ 本の返し忘れはありませんか？

夏季休業中の長期貸出の返却期限は9/27(木)です。まだ返却していない方は、すぐ返却するようにしてください〜!!

沖縄高専図書館の本や雑誌は、大切な財産の一つです。



### 店主のつぶやき

皆さん、今年の夏休みはどうでしたか？  
私たちは特に大きな事もなく、(今年も)穏やかな夏休みを過ごせました。  
後期も楽しんで頑張って行きましょう！

See you next issue!